

市民記者が行く！広報サポーターレポート

超高齢社会になくってはならない 総合福祉センター



広報サポーター
野田光成さん(今川町)

「市役所」といえば、どのような施設が皆さんお分かりのことと思います。しかし「総合福祉センター」といわれたら、どのような施設で、どんな活動をしているところか、ご存じの方は少ないのではないでしょうか。そこで、花ノ木町にある「総合福祉センターはなのき」①を



①

訪問してきましたので、皆さんに紹介したいと思います。

総合福祉センターは、市の福祉の拠点として平成8年5月に開館しました。1階には、全館を管理する「社会福祉協議会」の事務室と老人デイサービスセンターがあります。2階には高齢者生きがい活動センターと身体障害者福祉センター、3階には社会福祉センターと老人福祉センター、4階には母子福祉センター、5階には療育センターがあり、福祉の複合施設となっています。高齢者や障害者、そして全市民の皆さんが等しく地



②

域で安定した暮らしができるようにさまざまな活動を行ってまいります。

1階の老人デイサービスセンターでは、要介護認定を受けた方を中心に、送り迎えから健康チェック、入浴、レクリエーション②、食事と、「笑顔満点」をモットーに明るく心が通い合うサービスを実施してみえます。介護福祉士、看護師、ヘルパー2級の方などいろいろな職員の方が働いてみえ「見学やご相談などはいつでも気軽に超越してください」とのことでした。2階にはシルバー人材センター(高齢者生きがい活動センター)があり、市内在住で健康な方を対象に個人個人の能力を生かした、ふすまの張り替え③、刃物研ぎ、剪定作業、清掃作業(草刈り・草取り)などを実施してみえます。現在の会員数は1100余名で、女性の方も4割程度みえます。80代の方も多く、超高齢社会が急速に進む時代への対応として、高齢者が「福祉の



③



④



⑤

受け手から社会の担い手」へと、目標を定めて各種事業に取り組んでみえました。そして、3階の「老人福祉センター」では、60歳以上の方を対象にお風呂とカラオケ、囲碁や将棋の部屋④があり、体力づくりや教養の講座なども開催されていました。

この取材を通して、総合福祉センターは、超高齢社会にはなくてはならない施設であることを感じました。そして、私も凡人ではありますが、社会のお役に立てるのなら、個性を生かして貢献してみたいものだと思います。

この10月25日(日)には、総合福祉センターの一番の行事で、50余の団体の方が協力し、市長をはじめ3000人を超える方が盛り上げるといふ「にしお福祉まつり」⑤が開催されます。皆さんも足を運んでみてはいかがでしょうか。

広報サポーターは、公募により選ばれた市民記者です。これからも市民の目線で、市内各地のイベントなどを取材していただきます。